

# 令和5年度 高知市防災会議 会議録

日時：令和6年2月14日(水) 14:00~15:55

場所：総合あんしんセンター3階 大会議室

## 1 開会 (14:00)

---

### ◇ 開会挨拶

- 桑名会長（高知市長）

### ◇ 防災会議の成立について

- 事務局（高知市防災政策課）

委員59名中48名の出席により、「高知市防災会議運営規則第3条第1項」に基づき、本会が成立していることを報告。

## 2 議題 … 地域防災計画の修正について

---

### ◇ 修正案についての説明

- 事務局（高知市防災政策課）

資料1に沿って説明。マグニチュードについて用語の説明追加及び表記の修正、事前復興まちづくり計画の策定についての現在の取組概要などについての追記、受援計画策定に係る地域防災計画への内容の反映が主な修正点である。

#### ・気象庁マグニチュード(M)とモーメントマグニチュード(M<sub>w</sub>)について(P25)

地震の規模を表すマグニチュードは、国際的に用いられているモーメントマグニチュードと、我々が地震速報などで普段見聞きをしている、日本独自のマグニチュードである気象庁マグニチュードの2種類があるところ、気象台から計画内の数値が混在して表記をしているとのご意見があった。計画冒頭の本計画における用語に、気象庁マグニチュード(M)とモーメントマグニチュード(M<sub>w</sub>)について追記する。

#### ・臨時情報の発表条件におけるマグニチュードの表記の修正について(P25)

南海トラフ沿いでマグニチュード6.8以上の地震などが発生した場合、後発の地震が発生するかどうか調査を開始したことを知らせる「臨時情報(調査中)」が発表され、調査中が発表された後、最短で2時間以内に、地震規模により「臨時情報(巨大地震警戒)」「臨時情報(巨大地震注意)」「臨時情報(調査終了)」いずれかが発表がされることとなっている。このため、臨時情報の発表条件において、「臨時情報(調査中)」で用いられるのは速報値のため気象庁マグニチュード(M)、「臨時情報(巨大地震警戒)」「臨時情報(巨大地震注意)」で用いられるのは確定値のためモーメントマグニチュード(M<sub>w</sub>)となる。

臨時情報に関連する国のガイドラインや県の計画においては、MとM<sub>w</sub>を正確に

分けて表記していないと承知しているが、今回のご意見を踏まえ、国や県に先行して修正をすることとした。

・事前復興まちづくり計画の策定についての現在の取組概要などについての追記 (P27)

本市では令和5年度から、事前復興に係る取組に本格的に着手し、現在は、復興基本方針（案）や復興手順書の作成に取り組んでおり、計画の策定目標を令和8年度としている。

今回の修正は、現在の取組の概要などを盛り込むこととしており、今後、計画策定の進捗に応じて、地域防災計画の記載内容についても適宜修正をしたいと考えている。

・受援計画策定に係る地域防災計画への内容の反映 (P29, P32, P35)

被災後の応急復旧や復興を進めていくためには、我々、行政のマンパワーが必要となる中、職員自身も被災をし、市ではマンパワーが不足することが想定される。マンパワー不足を補うためには、外部からの支援が必要となり、被災側は受け入れ体制を速やかに構築できるかが重要である。

本市では、まずは、発災時に市が実施しなくてはならない業務や、被災後も継続して実施する業務、実施業務に必要な人員数を精査した、BCPを策定し、そのBCPを補完するものとして、令和4年度に受援計画を策定した。

今年度は、全庁で、南海トラフ地震発生を想定した初動訓練も実施した。受援計画の実効性を確保していくためには、今後も定期的な訓練実施が必要であり、地域防災計画にその旨を盛り込むこととした。

受援計画に基づき、総合対策本部内に受援調整を行う「受援調整班」を新設した。災害対策本部組織図の修正を行う。

応援要請についての箇所には、受援計画における基本方針の項目を記載した。

受援計画は主に南海トラフ地震を想定した計画であるが、洪水時であっても大規模な災害となれば、受援が必要となる。そういった場合には、受援計画を準用することとしており、地域防災計画の「一般対策編」にも受援計画の内容を盛り込むこととする。

◇ 質 疑

- 特になし

◇ 承 認

- 「高知市地域防災計画修正案」について、委員からは異議なしということで、承認された。

### 3 報 告

---

#### (1) 事前復興まちづくり計画について

##### ◇ (1) についての説明

##### ○ 事務局（高知市防災政策課）

資料2に沿って説明。「高知市事前復興まちづくり計画策定検討委員会」でのご意見を参考に計画を策定していくことになるため、本会議においては報告としての位置付けとする。

事前復興まちづくり計画とは、発生しうる災害に備えて、被災後どのように復興していくのかを事前に検討し、方針をとりまとめたものである。東日本大震災の被害を受けた市町村では、多数の職員が被災する中で、応急復旧対応や被災者支援などの膨大な業務に追われ、復興計画の策定に長期間を要し、復興事業の着手が大幅に遅れたという実情がある。

被災後の復興まちづくりの取組では、被災後の混乱の中、計画の検討や、住民との合意形成を行う必要がある。また、短期間に方向性を決めるため、人口減少や、産業の衰退などの地域課題を踏まえた、まちのあり方について十分な議論ができないまま、取組を進めざるをえない可能性がある。

そのような事態を避け、事前復興まちづくり計画を策定することにより、速やかに復興計画の策定に取りかかることができ、元のまちに戻す復旧ではなく、より良い復興が期待される。

高知市事前復興まちづくり計画の策定にあたっては、最大クラスの南海トラフ地震を想定。

計画策定の全体の手順としては、令和5年度から6年度にかけ、復興基本方針(案)を策定する。現在は、復興方針(素案)の作成と復興組織(素案)について取り組んでいるところ。復興基本方針(案)では、地域の暮らしやコミュニティ、魅力を守り育て、だれもが安心して住み続けられるまちを目指し、高知市総合計画におけるまちづくりの理念や将来の都市像を踏まえ、計画の方向性や基本理念を定める。1月23日に開催した第1回事前復興まちづくり計画検討委員会では、この5つの理念や方針をお示しし、おおむね了承を頂いた。今後は検討委員会で意見を頂戴した、基本理念に紐づく目標などに対して、整理や修正作業が必要となる。

令和6年度からは、対象地区において地区別事前復興まちづくり計画(素案)を作成する予定。計画は大街単位で地区別に策定する。対象地域の地形やまちの規模に応じて、可住地などの土地利用について、現地復興や高台移転など、いくつかの復興パターンを検討する。土地利用は、現状整理と課題分析の結果をもとに、人口減少や、なりわいと暮らし、地盤沈降や長期浸水等の視点と、復興基本方針(案)も踏まえ、検討する。令和7年度から、素案をもとに、住民の皆さまのご意見を伺いながら、地区別事前復興まちづくり計画(案)を策定し、令和8年度を目途に、「事前復興まちづくり計画」の策定を目指す。

## ◇ 質 疑

- 特になし

### (2) 避難確保計画について

- 事務局（高知市防災政策課）

資料3に沿って説明。避難確保計画は、高知市では「洪水」「土砂」「津波」の災害について、要配慮者利用施設に計画作成と訓練実施の義務がある。洪水・土砂災害は、令和元年度に洪水の想定が最大規模になったことにより、対象施設がそれまでの120から800に増加した。令和3年2月に施設を再選定し、現在までにほとんどの対象施設の計画作成が完了している（洪水：786/800施設，土砂：174/174施設が提出済み）。令和5年度は、洪水・土砂の避難確保計画作成施設に対して、避難確保計画に基づく訓練実施報告書の提出を受けている。

また、津波については、令和3年度末に「津波災害警戒区域」の指定を受けたことにより、津波のハザード内にある要配慮者利用施設に対し、計画作成と訓練実施の義務が発生した（637施設）。昨年度対象施設選定を行い、令和5年度は対象施設に計画の作成を依頼しているところ。

### (3) 訓練の実施状況について

- 事務局（高知市防災政策課）

資料4に沿って説明。令和5年度実施した「図上訓練」「BCP・受援計画に基づく初動訓練」「総合防災訓練」について説明した。

「図上訓練」は防災対策部を対象とし、線状降水帯の発生等を想定し、比較的発生頻度が高い風水害に備えて、災害対策本部の体制強化を図った。

「BCP・受援計画に基づく初動訓練」は、職員の参集見込みとBCPに基づき、非常時優先業務の実施を決め、不足する人員の要請をするまでの初動時を対象として訓練を実施した。職員の参集見込みは、全庁に導入している安否確認システムを使い、各職員からの安否報告に基づくもの。

「総合防災訓練」は、令和6年1月20日にみどりの広場で実施。鏡川を津波浸水域と見立てたボートによる救助救出訓練や、広域避難訓練などを実施し、展示ブースでは体験型のものを多く取り入れた。能登半島地震発生による被災地支援の関係で、急遽不参加となった機関があり、一部訓練や展示ブースので内容を変更して実施した。

### (4) 令和5年度の協定の締結状況について

- 事務局（高知市防災政策課）

資料5に沿って説明。今年度締結した協定2件、今年度中に締結予定の協定1件について説明した。

- ◇ 質 疑
- 特になし

- ◇ 議事終了

#### 4 講 演

---

- ◇ 「令和6年能登半島地震に係るトイレトレーラーの派遣報告」
  - 高知市防災政策課 防災政策担当係長 大野 賢信
  
- ◇ 「令和6年能登半島地震における日赤高知県支部・高知赤十字病院の  
現地医療救護活動～DMAT, コーディネートチーム, 救護班について～」
  - 高知赤十字病院 検査部長 山崎 浩史 氏

#### 5 閉 会 (15:55)

---